

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ上矢部		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		～ 2026年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)が確立されており、流れてしまう事案はない。また、職員 の成長の機会を十分に確保しており、PDCAサイクルが回って いる。	・個々の職員が月の目標を設定して走っており、週報という形を 以って目標達成度を追っている。 ・拠点長と月に1回、1on1の機会があり、自身の支援のフィード バックの機会となっている。 ・毎日朝礼・終礼を欠かさず行い、児童の様子や支援について振り 返る機会を設けている。	
2	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内 等で研修を開催する機会が確保されている	・各職員、階層別研修及び定期研修が月に各1回づつ原則受講する仕 組みが構築されている。 ・事業所内で2か月に1度、虐待防止研修を実施している。 ・職員会議と抱き合わせで事業所職員に向けての内部研修を定期的 に実施している。	
3	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管 理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の 下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている	・モニタリングを実施する前に、職員に一通り対象者の状況や支援 課題など、情報提供してもらっている。また、可能な限り複数名で モニタリングに参加するように努めている。 ・各児童の計画書を共有し、個別支援目標に沿った支援がなされ、 日々の終礼で振り返りを行っている。 ・アセスメントシートの記入にご協力いただいた上で面談を実施 し、家庭・学校・トイロの様子について情報共有を行い、目標を設 定している。	・児童によってはご自身の意思表示を行うのが困難な児童も いるため、ご本人主体ではなく保護者の思いが中心になっ てしまうケースもあるので、本人に対するアセスメント、ヒア リングも強化していく。
4	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせ合わせて支援を行っている	・外出行事や外食行事が多く、社会参加の機会が多く確保するこ とが出来る。 ・個別・集団を適宜組み合わせることが出来るよう、発散・運動・ 創作・調理・と活動を多岐に渡り提供している。	・地域交流の機会が乏しいので、今後具体的に地域交流の場 を増やしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の取り組みを保護者の皆様がいまいち理解されていな い。	・マニュアル等を配布していないことにより、具体的な取組 みが認知されていない。 ・日々の申し送りや内報誌などで運営の様子をお伝えしている つもりだが、うまく伝わっていない。	・各種マニュアルの配布(安全計画に基づき) ・内報誌の共有内容の見直し
2	環境として、保護者目線で不安が多い(窓がなく採光が出来な い・換気が不十分・段差がある・死角が多い)	・発達支援室に窓がひとつもなく、自然光を取り入れることが 出来ない。そのため、換気をして乾燥している時期の保護者 の不安は拭えない。	・定时換気を徹底し、保護者に対し具体的な取り組みを周知し ていくことで安心感に繋げていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ上矢部

公表日 2026年 3月 10日

利用児童数 34名

回収数 22

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	4			・広々としていると思う。 ・子どもの人数に対しての広さがあると思いますが、活動内容によって変わってくると思います。	・活動内容によっては机の数、配置など工夫しながら安全・安心に利用していたできるようにする。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3		3	・重度知的障害がある場合は必ず加配のような形で職員さんをつけていただくわけにはいかないのでしょうか？ ・普段、職員の方が何人いて子ども何人に対して職員が何人なのかかわからない。	・現在においてもマンツーマン対応をしている事実をお伝えしていく。 ・障害福祉サービスにおける指定基準、人員基準など基礎的な知識を保護者に提供する機会を作る（親睦会など）
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1		1	・きちんと考えられています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1		1		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				・子どもに寄り添った計画書を作成してください。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2			・現時点では、とても丁寧に支援してくださりありがとうございます。中学卒業後のことなど先の事ですが少し不安に思っています。	・必要に応じて対応したい。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2			・毎月楽しいイベントを考えてくれている。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	4	10	2		
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	5	5	4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1			・送迎の際などよく子どもの様子について話してくれています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	4			・面談の度に新しい気付きや発見があり、とても助かっています。 ・半年に1度面談があり、子どもの今後の対応や相談に乗ってくれています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1				

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	7	7	5		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22					・利用する度に丁寧な記録を書きいただき、楽しみに読ませていただいています。 ・なにかトラブルがあった場合など、帰りの送迎時や電話で伝えてくれます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1			・写真掲載の可否について、子どもの育ちによって変わってくるので定期的に確認、更新する機会を作っていたかいたい。	・毎年ヒアリングを実施していく。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2		2	・部屋に窓がなく、感染症が多い時期の換気が心配です。	・特に乾燥の多い冬季においては定時換気を実施すると共に、保護者に周知していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	3		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2		1	・電話など、速やかに連絡をしてもらっています。	・まずは保護者への報告・共有を忘れずに支援を行っていく。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1			・職員の方たちとの信頼関係が気づかれていることを感じます。	・引き続き、個別支援の大切さを心得ることで子どもたちひとりひとりの信頼関係構築に努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	2			・友達と過ごす時間やイベントそのものを楽しみにしています。 ・とても楽しみに通所しています。	・引き続き、児童と保護者にヒアリングする機会を確保しながらサービスの質の向上を図っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21			1	・心の温度を感じる支援に大変感謝しております。いつもありがとうございます。	・引き続き、障害の理解に繋がる研修を多数実施し、本人理解に努めていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	トイロ上矢部					公表日 2026年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		出来るだけ広いスペースを確保できるように本棚、カラーボックスなどの設置は最小限に留めている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3		・基本、人員基準は満たしているものの利用児童の特性やイベント内容によって、十分な職員を配置出来ない時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4		・段差が事業所内に2カ所あり、バリアフリー化が追いついていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・クールダウン、体調不良、その他相談事がある際など、使用できる場所が確保されている。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・個々の職員が月の目標を設定して走っており、週報という形を以って目標達成度を追っている。 ・拠点長と月に1回、1on1の機会があり、自身の支援のフィードバックの機会となっている。 ・毎日朝礼・終礼を欠かさず行い、児童の様子や支援について振り返る機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・毎月の職員会議において、現場の課題を抽出し、具体改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		・まだ第三者評価を取り入れることが出来ていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・各職員、階層別研修及び定期研修が月に各1回づつ原則受講する仕組みが構築されている。 ・事業所内で2か月に1度、虐待防止研修を実施している。 ・職員会議と抱き合わせで事業所職員に向けての内部研修を定期的に実施している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・作成し、ホームページで公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	2	アセスメントシートの記入にご協力いただいた上で面談を実施し、家庭・学校・トイロの様子について情報共有を行い、目標を設定している。	・児童によってはご自身の意思表示を行うのが困難な児童もいるため、ご本人主体ではなく保護者の思いが中心になってしまうケースもある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		モニタリングを実施する前に、職員に一通り対象者の状況や支援課題など、情報提供してもらっている。また、可能な限り複数名でモニタリングに参加するように努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・各児童の計画書を共有し、個別支援目標に沿った支援がなされ、日々の終礼で振り返りを行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・毎月、交代で作成（全職員回覧後調整）しており、固定しないよう、またマンネリ化を防ぐよう工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・個別・集団を適宜組み合わせることが出来るよう、発散・運動・創作・調理・と活動を多岐に渡り提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・必ず実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	8		・必ず実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・徹底しており、終礼の場において記載漏れがないかまで確認を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・最低でも半年に1度は面談を実施している。その他、保護者より希望がある場合やこちらとして必要と感じた際には適宜面談を実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1	・外出行事や外食行事が多く、社会参加の機会は多く確保することが出来ている。	・地域交流の機会が乏しい
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		8		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		8		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	5		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			・策定し、訓練及び研修を実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			・医師の指示書を基に、保護者から確認を取りアレルギーを使用しないよう、日々最善の配慮がなされている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			・発生した当日の共有はもちろんのこと、毎月の職員会議の際に全職員間で改めて共有し、事故の防止・発展にならないよう努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・研修や振り返り、職員同士の連携を図り防止に努めている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			・研修にて手順を追い、周知・共有している。	